

会 議 議 事 録

1 会議名	平成28年度 第2回 長岡市子ども・子育て会議
2 開催日時	平成28年11月11日（金曜日） 午後3時から午後5時まで
3 開催場所	ながおか市民防災センター 2階 研修室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>高野礼子委員長、兒玉優子副委員長、池田浩委員、 西山宗彦委員、桃生鎮雄委員、高橋呈子委員、相澤直広委員、 河野瑞枝委員、榎園早苗委員、成田涼委員、田邊香織委員、 佐藤紫野委員、横澤勝之委員、木村春美委員、 ジョーンズ文穂委員、内藤純子委員、長谷川直子委員</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>小池由佳氏</p> <p>(事務局)</p> <p>子ども未来部：波多文子 政策企画課：林智和 市民活動推進課（男女共同参画推進室）：堀川雄一郎 商業振興課：関口久美子 学校教育課：山岸力 保育課：大野宏、大竹美加 子ども家庭課：大矢芳彦、梅沢一茂、五十嵐涼子、小林恵美子、 鷲頭和也、井口陽子、小林広子</p>
5 欠席者名	加藤秋子委員、諏方浩二委員
6 議題	<p>(1) 子ども・子育て会議ワーキング部会の報告</p> <p>(2) グループワーク</p> <p>～テーマ～</p> <p>「ライフデザインを描くために必要な情報について」</p> <p>～概要～</p> <p>若い世代がライフデザインを描く上で必要な情報についての冊子を制作するため、「ライフデザイン」ワーキング部会で話し合われた内容を踏まえ、それぞれの立場から広く意見を出してもらおう。</p>

7 会議結果の概要	<p>(1) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料No.1、2、3に基づき説明した。 ・アドバイザーから、事務局の説明についてコメントをいただいた。 <p>(2) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのグループに分かれ、テーマに沿ってグループワークを行った。 ・アドバイザーから、各グループの発表についてコメントをいただいた。
8 会議内容	
<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議事 (1) 子ども・子育てワーキング部会の報告 <議事(1)についてワーキング部会参加委員の御意見・御感想> (委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフデザインワーキング部会に参加し、部会の中では意見が出尽くしたと思うが、今日は委員の皆さんから、それぞれの立場でのご意見もお聞きしたいと思う。 <p><議事(1)についてアドバイザーからの御意見・御感想></p> <p>「子育てあんしんの避難所」ワーキング部会報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の災害の経験を生かし、長岡から全国へ発信して行ってほしい。 ・「なニーナ」発行の「あんしんの種」も参考にしたらよいのではないか。 <p>「企業支援」ワーキング部会報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキング部会で検討したことを、どのように形にしていくかが課題 ・「働き方」や「企業の意識」を変えるという社会全体で取り組む大きな課題であるため、企業が多く参加する機会を捉えて、働く子育て世代の声を知ってもらうことが必要である。 <p>3. 議事 (2) グループワーク <各グループの発表></p> <p>○1グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマは「自分らしく、未来に向かって！」 ・特に若者に伝えたい大切な情報としては「コミュニケーションの大切さ」「共に生きる」ことなど、社会の一員として、周りの人たちと一緒に生きて行くことの大切さと、「自分を知ること」「自分らしさ」などを盛り込み、自己肯定感の低い傾向にある若者に対し、自分を大切にしてほしいというメッセージを伝えたいという内容にまとまった。 	

○2グループ

- ・掲載すべき内容としては、「ライフデザインを考える意義」「自分を知ることや人間関係を築くことの重要性」「結婚・出産・子育ての情報」「多様な生き方」「現在の日本が抱える課題」などが挙げられ、実際の体験談などの情報提供や若いころの自分にこういったメッセージを伝えたかった、という観点から年代を超えて生き方をシミュレーションできるような伝え方ができたらよい。
- ・冊子の見せ方については、文章が長いと若い世代はなかなか読まないと思うので、写真やイラストを多用したらいいのではないかと思う。
- ・若い世代に編集に加わってほしい。

○3グループ

- ・これから社会の一員として人生を歩んでいくにあたり、ライフデザインを考えていこうというメッセージを伝えたいが、経験が無い若者には難しいので、様々な幸せのメッセージや、いろいろな年代や職業の体験談を掲載するとよいと思う。
- ・長岡での子育ては素敵で、支援制度が充実していること、その他長岡の魅力の紹介や困ったときの相談窓口を載せたい。
- ・冊子は堅いイメージだが、若い世代が思わず手に取って読み進めてしまうような工夫が必要であり、その冊子を親子で楽しめるような内容の冊子であるとよい。
- ・人生に躓きやすい若者が、躓いてしまっても、「大丈夫、いろいろな支援もあるし人生やっていける！」というメッセージ性のある、読んだら明るく元気になれるような冊子にできたらと思う。

○4グループ

- ・掲載すべき内容としては、「ライフデザインとは?」「多様な生き方」
- ・まずはライフデザインとは何か、ライフデザインを描くことの大切さを伝える。自分の人生を考えるきっかけとなり、自分の本当の望みを認識でき、その望みをかなえるために何が必要かがわかることであると伝えたらよいのではないか。
- ・それぞれがライフデザインを描くために、多様な生き方を提案する。今は多様な生き方があり、同姓婚や結婚しないという選択肢もある。
- ・今回とは別に30歳以上の未婚の方向けにも情報発信してはどうか。
- ・長岡らしさもどこかにプラスされたらよい。
- ・冊子については、成人式の案内と一緒に送付すれば、成人式でもらってそのまま置いて帰ることもなくなるのではないか。
- ・SNSでの発信もできるのではないか。

<各グループからの発表についてアドバイザーからの御意見・御感想>

- ・ライフデザインを考える意義はいったい何かを、ここに集まったみなさんで再度確認することが大切
- ・家族をつくる、子どもを育てることのこのことの楽しさを発信してほしい。

- ・できるだけ具体的なモデルがあった方がいい。それはこちらから具体的なモデルを伝えるの方法もあるが、できれば若者の方からも発信（若者の声を聞くなど）があったらよいのではないかな。
- ・こちらが伝えたい内容と、それを見た若者がそれをどう受け止めるかも大事だと思う。
- ・発信の方法について、配布物は今の若者はなかなか手にとらないが、配布することの意義もあるため、複数の方法で発信したらどうか。
- ・冊子を作成するのであれば、どこかに長岡らしさを盛り込んでほしい。これからライフデザインを考える中で、若い世代の人たちが自分はどこで暮らそうかと考えるということも大事になってくるため、長岡で暮らしたいと思う若者が、どんなライフデザインを描くことができるか見せてあげられたらいいと思う。
- ・今回、子ども・子育て会議の中で「ライフデザイン」を検討する意義は大きいと思う。子ども・子育て会議なので、子どものことをまん中にした会議であってほしいと思う。
- ・「共に生きる」というキーワードもあったが、地域の中若者を一人にすることなく、一緒に生きていくというようなメッセージを伝え、ライフデザインと一緒に考えていくということが、子ども・子育て会議の中で、皆さんがこのテーマについて話す意義なのではないかと改めて感じた。

(出席委員の署名欄)

上記会議議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名をする。

長岡市子ども・子育て会議 委員長

㊟